

## 平成24年度食育実践活動推進事業の概要

### 【(株)ファミリア】

高齢者を中心とした仮設住宅入居者の食生活について調査し、大学・栄養士等と連携して科学的根拠に基づく栄養バランスが取れたレシピを開発・提供（HP、健康通信の発行）。また、仮設住宅敷地内において料理レシピの実演を実施し、高齢者向けの料理の作り方・ポイントなどわかりやすく説明をし、バランスの取れた食事の重要性を教育。

### 【(株)アド・エスタ】

妊産婦を含む若い子育て世代のニーズと食課題を踏まえた食コミュニケーションモデルを構築する。地域に関係なく全国で活用できるよう、スマートフォンアプリを主軸に、ユーザ同士、ユーザと専門家、ユーザのアプリ内イベントへの参加等双方向コミュニケーションを①情報入手、②導入、③共有、④意識付け、⑤行動の各ステージで積極的に展開できる仕組みを構築。

### 【うるおいのある食生活推進協議会】

食への関心が薄い成人男性等を対象に、多様な品目摂取によるバランスのとれた日本型食生活の実践を促すため、成人男性参加型の料理教室「ヘルシーメニュー教室」を開催。また、大学公開講座等で健康生活における朝食の効用、体重管理、美肌、スローフード、食材の意識を話題にした「スマート朝食講座」を全国で実施。

### 【(株)ジャパンエフエムネットワーク】

10代後半～20代前半の若年層をメインターゲットとし、ジャパンエフエムネットワークが制作する番組との連動によって食に対する関心を高めるとともに、食生活を見直すための気付き与える取り組みを展開。また、ソーシャルメディア等を活用した「食のファンクラブ」を組織することにより、個々の食生活により深く・継続的に関わる体制を構築。

### 【(株)センス・イット・スマート】

「食育」に対する関心が薄い若年層（学生）を対象に、若年層が高い関心を示す視点からアプローチすることにより、日常生活の中で自然と意識的に「食」や「運動」に関心を抱き行動変容できるような仕組み作りを実施。若年層の日頃の生活行動やニーズを踏まえ、ネット上とリアルな場（学内・地域）の両面から食生活にアプローチすることにより、若者への効果的ポピュレーションアプローチ手法を構築。

### 【シニア世代食育推進協議会】

企業・団体の連携の下、シニア世代の食生活改善に係わる人々を対象に、望ましい食生活のあり方を学習する「シニア食育講座」を開催。また、基礎知識の習得とともに得られた知識を地域・企業を通じて広く実践されるよう、協議会を構成する企業・団体がモデル的に各種の手法により実践活動を実施。